

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 セキュアヴェイル
 コード番号 3042 URL <http://www.secuavail.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 米今 政臣
 (氏名) 三木 亮二

TEL 06-6136-0020

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	485	△8.7	△0	—	△0	—	△1	—
26年3月期第3四半期	531	4.9	10	—	10	—	10	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△0.39	—
26年3月期第3四半期	3.09	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	538	396	73.6	122.20
26年3月期	544	397	73.0	122.50

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 396百万円 26年3月期 397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	800	7.9	1	△95.8	1	△95.8	0	△99.1	0.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	3,245,000 株	26年3月期	3,245,000 株
27年3月期3Q	153 株	26年3月期	90 株
27年3月期3Q	3,244,897 株	26年3月期3Q	3,244,979 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提条件及びその他関連する事項については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、政府による経済対策効果と、日銀による追加金融緩和以降の円安加速や原油安も追い風となり、株価が回復し、景気は引き続き緩やかな回復基調にあるように見えました。しかしながら、未だ先行きが明確に見えない中で、企業における情報設備投資は積極派と消極派に二極化する傾向が強まっているように見受けられます。

情報セキュリティ関連につきましては、ShellshockやPoodleとネーミングされた脆弱性の問題からも自明のように、技術の進化に伴う脅威が日々発生するリスクが顕在化しております。また、マルウェア感染やリスト型攻撃による情報の流出や、DDoS攻撃によるサーバダウン、人的要因による企業秘密の持出し・漏洩・紛失といった従来の脅威に加え、11月にサイバーセキュリティ基本法が成立したこともあって、情報セキュリティへの関心は今後一層高まっていくことが予想されます。

このような環境のなか、当社におきましては、これまでに蓄積してきたノウハウを反映させた新サービスの基幹となるシステム開発に取り組む一方で、12月にはクラウドプラットフォームを提供するフリービット社と協業し、安全・安心な環境でクラウド環境を利用できるように「フリービットクラウド VDC Proセキュリティマネージメントサービス Powered by NetStare」をリリースいたしました。また、情報セキュリティの旬な情報を発信する「SecuAvail NEWS」を発行し、定期的にお届けすることで、情報設備投資の意思決定を手助けするツールとしてご活用いただいております。

当第3四半期につきましては、当初方針どおり、セキュリティ機器の販売による一時的な個別対策ではなく、自社開発のセキュリティマネージメントシステムによるネットワークセキュリティに対する技術的なオペレーションの運用サービスを販売することに注力した結果、売上高は485,110千円(前年同四半期比8.7%減)、営業損失609千円(前年同四半期は営業利益10,706千円)、経常損失480千円(前同四半期は経常利益10,776千円)、四半期純損失1,269千円(前同四半期は四半期純利益10,023千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は485,327千円(前期末比8,302千円減)となりました。これは主として売掛金が40,298千円減少し、現金及び預金が29,373千円増加したことによるものです。

固定資産は53,454千円(前期末比2,520千円増)となりました。これは主として工具、器具及び備品の取得4,747千円と減価償却費2,061千円との差額によるものです。

この結果、資産合計は538,782千円(前期末比5,782千円減)となりました。

流動負債は134,244千円(前期末比4,799千円減)となりました。これは主として買掛金が18,118千円減少し、前受金が11,695千円増加したことによるものです。

固定負債は8,024千円となりました。

この結果、負債合計は142,269千円(前期末比4,799千円減)となりました。

純資産合計は396,513千円(前期末比983千円減)となりました。これは主として利益剰余金が1,269千円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月12日に発表いたしました「平成27年3月期の業績予想」につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	322,564	351,937
売掛金	145,290	104,991
商品及び製品	3,367	8,077
仕掛品	6	551
原材料及び貯蔵品	2,906	2,443
前渡金	2,389	2,476
前払費用	10,489	14,207
未収入金	6,415	642
その他	201	—
流動資産合計	493,630	485,327
固定資産		
有形固定資産		
建物	50,394	50,394
減価償却累計額	△19,531	△19,688
減損損失累計額	△29,757	△29,757
建物(純額)	1,104	948
車両運搬具	2,735	—
減価償却累計額	△2,452	—
減損損失累計額	△283	—
車両運搬具(純額)	—	—
工具、器具及び備品	64,322	69,069
減価償却累計額	△47,357	△49,262
減損損失累計額	△12,487	△12,487
工具、器具及び備品(純額)	4,477	7,320
有形固定資産合計	5,582	8,268
無形固定資産		
ソフトウェア	1,478	567
ソフトウェア仮勘定	—	633
無形固定資産合計	1,478	1,200
投資その他の資産		
投資有価証券	4,534	4,861
長期前払費用	273	287
差入保証金	39,065	38,836
投資その他の資産合計	43,873	43,985
固定資産合計	50,934	53,454
資産合計	544,565	538,782

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	59,697	41,578
未払金	3,676	7,806
未払費用	13,258	16,557
未払法人税等	4,661	984
未払消費税等	5,111	8,475
前受金	35,896	47,591
預り金	1,686	4,739
賞与引当金	14,996	6,507
リース資産減損勘定	59	—
その他	—	2
流動負債合計	139,043	134,244
固定負債		
資産除去債務	8,024	8,024
固定負債合計	8,024	8,024
負債合計	147,068	142,269
純資産の部		
株主資本		
資本金	410,800	410,800
資本剰余金	387,800	387,800
利益剰余金	△401,490	△402,759
自己株式	△35	△76
株主資本合計	397,073	395,763
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	422	749
評価・換算差額等合計	422	749
純資産合計	397,496	396,513
負債純資産合計	544,565	538,782

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	531,286	485,110
売上原価	322,914	282,151
売上総利益	208,372	202,958
販売費及び一般管理費	197,666	203,567
営業利益又は営業損失(△)	10,706	△609
営業外収益		
受取利息	32	35
受取配当金	5	4
受取手数料	25	34
雑収入	6	54
営業外収益合計	70	128
経常利益又は経常損失(△)	10,776	△480
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	10,776	△480
法人税、住民税及び事業税	752	788
法人税等合計	752	788
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10,023	△1,269

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。